

▼ジャンル別ニュース

政治・行政

経済

事件・災害

裁判

国際

教育・大学・環境

観光・社寺

まちの話題

スポーツ

文化・芸能

暮らし・健康

お悔やみ

▼おすすめ特集

■第23回女子駅伝

自然観察会が人気 京大植物園 参加者増える

京都大理学部附属植物園（京都市左京区）で月1回開かれている自然観察会が学内外から多くの参加者を集めている。研究者や学生で結成した「京大植物園を考える会」が昨年4月から開いており「京大植物園の価値を知ってほしい」と話している。

「冬眠中の虫たち」や「木陰の生き物たち」といった季節にあわせたテーマで、平日の昼休みに開いている。学生や教職員だけでなく、地域の人々の参加も増えている。

21回目となった12月20日の観察会には尾池和夫総長も参加し、60人でにぎわった。テーマは「ロシアからやってきた小鳥を探そう」。お目当てのジョウビタキとは出会えなかったが、エナガやメジロの鳴き声、コゲラが木をたたく音を参加者が耳を澄ませて楽しんだ。

植物園の面積は2ヘクタール弱と小さいが、疏水の水を引き込んだ池や水路もあり、市街地にあってユニークな生態系を形成、多くの学術論文が生まれている。考える会は「50年、100年先まで大学の財産として残せるよう活動していきたい」と話している。

今後の開催予定はホームページ（<http://members.at.infoseek.co.jp/bgarden/>）で。



冬の鳥を探す京大植物園観察会の参加者（京都市左京区）

←ひとつもどる

Copyright(C) 1996~2004 The Kyoto Shimbun Co.,Ltd.

各ページの記事・写真は転用を禁じます
著作権は京都新聞社ならびに一部共同通信社に帰属します
ネットワーク上の著作権について
新聞・通信社が発信する情報をご利用の皆様（日本新聞協会）
記事に対するご意見、ご感想は kpdesk@mb.kyoto-np.co.jp